

試験勉強から解放され人並みに青春謳歌。入学直後に学科の歓迎会で谷川岳・天神平へロープウェイで、下山を革靴で滑りながら～今思えば危険な冷や汗ものの驚きの行動で湯檜曾温泉泊。また大阪の高校友人の出雲大社市の親戚にお世話になり、地元主催の伯耆大山に懐中電灯で夜行登山は小舟で集魚灯によるイカの集団夜釣りと共に思い出深いものになった。

直ぐ4人仲間が来て、**流行のアルプス登山に行こう！**と意気投合。**その前に足慣らしに奥多摩低山だ！**となって、当時最も変化があり涼しさ、苔で人気が高かった**川苔山 1363m**の夏山登山。用具を揃えようと秋葉原の人気店ニッピンに出向き、キャラバンシューズ、リュックサック、アノラック等を揃えた。評判通りの渓谷自然美を満喫し、帰途は日原鍾乳洞にも立ち寄った。今、ニッピンをWebで調べたら2020年に69年の幕を下ろした、と言うから栄枯盛衰に驚き。また最近NHK BS3で吉田類（酒場放浪記の人）川乗林道 百条の滝を紹介していたので未だ人気が高いのかな～と感慨も一入。

次いで、北アルプスってどんな山？と先ず手始めに遠望に好適で有名な**蝶が岳登山**。松本から上高地に入り直登気味で夏のむせ返るような熱気の笹の中を登った記憶がある。でも頂上が急に開けたら～評判通りの北アルプス展望に感激。

愈々北アルプス行き！となって～記録が無く曖昧だが、**槍ヶ岳 3180m・表銀座縦走**という訳で中房温泉～大天荘泊～大天井岳～（空身で）山頂往復～槍ヶ岳山荘泊～槍沢～横尾～上高地のルートだったかな。兎に角初めての3000m峰、槍の穂先は鉄梯子が掛けられ1人ずつしか登れず順番待ちで混雑に難儀したが若かったので何とかあった。

以後、味をしめて上高地ベースで**西穂高、穂高連山、白馬山、鹿島槍、八方尾根等に登山**。

仲間との卒業記念登山旅行は温泉も楽しむ**八甲田山・十和田、八幡平**であった。

南アルプス**八ヶ岳連峰の黒岳**は途中から雨で撤退を余儀なくされた苦い思い。～等の思い出が走馬灯！

**\*その間に危険な目に会った事も**。1つは**尾瀬ガ原・至仏山登山**。10月末に人気の無い長蔵小屋で火鉢、下山時に雪となり神戸の女学生グループを助けつつ、5時過ぎて暗くなったのに懐中電灯も少なく遭難しかかった。山ノ鼻小屋で早速風呂へ。今でも、もし我々が助けなかったら明らかに遭難したと思う。



次の日は前年の台風で倒木三昧の**奥鬼怒沼への縦走**に早朝から10時間費やし無事、ランプの宿・八丁の湯に投宿。また訪れたい純朴な山荘だが、今は加仁湯の方が近代的で有名になり繁盛している。

2つ目は**草津白根山**で濃霧に会い、鈴で連絡を取りながら慎重に進んだが下手すると遭難する所だった。次の日に見たら遭難碑が立っていて、晴れた日には何でこんな場所？と思うが目印が何も無いので納得。

3つ目は別の機会に！

\*以下の写真は2012年10月に尾瀬ハイク再訪時のもの。

**12,10 至仏山**：一時の驟雨で山に雲～名残の草紅葉

雨後に、珍しい完璧な2重の虹～皆、大歓声

以上